

令和6年9月30日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



# 東希小だより 10月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

## 福祉の心

校長 井島 恵子

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、先週から急に秋らしい気候となりました。半袖で登校する子どもたちが「寒い、寒い」と言いながら校門を通過して行くようになりました。季節の移り変わりを感じる今日この頃です。

24日の音楽朝会、懇談会にはご多用のところご来校いただきありがとうございました。学年懇談会の中では「あゆみ」の見方について、お伝えしました。ご欠席の場合は、配付した資料にてご確認いただけますと幸いです。

さて、今年度の4年生は、総合的な学習で福祉活動について調べたり、体験したりしています。6月には「交通バリアフリー出前教室」に来ていただき、車いすを押してユニバーサルデザインタクシーに乗車したり、視覚障がい者誘導を体験したりしました。今後も体験を中心にして探究活動を広げていく予定です。ここ数年、本校では4年生の総合的な学習の時間に「福祉」を探究課題として取り上げています。この学びがきっかけとなり、旭区の事業である「ジュニアボランティア」に参加する児童が増えています。今年度は5年生9名、6年生4名の合計13名が参加し、活動を続けています。夏休みには保育体験や高齢者疑似体験、地域防災の学習などに取り組んだそうです。まもなく始まる赤い羽根共同募金活動にも参加すると聞いています。子どもたちの優しい心が、少しずつ地域に広がっているようで、とてもうれしく思います。

17日の朝会では9月の敬老の日になんで、校長講話として「敬う気持ちの大切さ」についてお話ししました。年長者の方々から学ぶこと、友だち同士でも互いを敬う気持ちをもつこと、そして感謝の気持ちを伝えることの大切さを伝えました。これは本校の教育目標である「互いのよさを認め合う」ことにもつながります。10月には4年生と5年生が、宿泊体験学習に出かけます。普段とは違う環境の中で、人を敬う気持ちを大切に、行動で示してくれることを期待しています。

ジュニアボランティア・・・

民生委員・児童委員と共に、小学5・6年生が福祉活動や地域活動に参加する旭区独自の事業。詳しくは「広報よこはま7月号旭区版」をご覧ください。

[R6asahi07paper.pdf \(yokohama.lg.jp\)](#)

